

(塾名) 大治町立大治中学校区 スタディーサポート クラブ (SSC) (運営主体) はるポラフレンズ

(取組の概要)

1 背景・ねらい	基礎学力が不十分な生徒への学習支援を通して、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。
2 対象校・対象者	大治中学校生徒 (全学年)
3 実施教科	国語、社会、数学、理科、英語
4 実施場所	2・3年・・・大治町立西公民館 1年生・・・大治中学校
5 実施の形態	2・3年・・・生徒各自が教材 (問題集等) を持参し自主学習 1年・・・講師が用意したプリントを中心に基礎問題に取り組む。
6 実施日・回数 実施時間帯	6月～2月 2・3年 各月第2・4日曜日 夏休み3回・冬休み2回 計14回 午前9時～11時30分 1年 各月第2・5月曜日 夏休み3回 計13回 午後3時～4時30分
7 登録人数	3年・・・22人 2年・・・9名 1年・・・9名
8 参加人数(平均)	3年・・・12人 2年・・・7人 1年・・・5人
9 コーディネーター 等の取組の様子	生徒・ボランティアの募集案内 会場準備 学習プリント作成 出欠確認 SSC 通信の発行

(取組の結果・効果)

緊急事態宣言の解除後に学習会を実施。開催にあたっては、参加生徒及び指導員に検温・健康観察・マスク着用を文書で通知し、徹底をはかった。当日検温を忘れた人には、会場で検温し体調を確認した。また、会場には、消毒液と保湿機を設置し、会場も2部屋に分け、生徒同士のソーシャルディスタンスを確保し感染防止に努めた。

参加生徒からは、「家庭で学習するより、集中して学習できた。」「わからないところを教えてもらい理解することができた。」「次回からは、質問するところを決めて参加するようにしたい。」「講師の方と親しくなれてうれしかった。」など講師の方と触れ合いながら楽しく学習できている。今年も制限が多い中での学習会であったが、開催してよかったと感じている。